

令和6年度三重県高等学校フェンシング春季大会 実施要項

1. 主 催
三重県教育委員会 三重県高等学校体育連盟 三重県フェンシング協会

2. 後 援
公益財団法人 三重県スポーツ協会

3. 主 管
三重県高等学校体育連盟フェンシング専門部

4. 期 日
令和6年4月27日(土)～28日(日)

5. 会 場
鳥羽高等学校 体育館 三重県鳥羽市安楽島町1459 TEL 0599-25-2935

6. 競技日程
4月27日(土) 07時30分～ 開館
08時30分～ 開会式
10時00分～ 男女フルーレ個人対抗戦

※フルーレ終了後エペ・サーブルを行う。

28日(日) 09時00分～ 男女学校対抗戦
13時00分～ 閉会式

※7時30分より全員で会場設営を行う。

※日程は試合進行によって変更する場合がある。

7. 大会役員

理事長	福田 るり子				
部長	服部 芳尚				
委員長	松本 優				
技術委員長	日向 和義				
総務委員長	大野 幸太				
総務委員	中川 佳代	稲垣 智子	真弓 覚仁	杉谷 佳紀	
審判長	松本 優				
審判委員	大野 幸太	辻 高明	日向 和義	柏木 慈理	村上 夏希
	那 須 茜	倉田 美月			

その他専門部が認めるもの

補助員 県内高校生
会場責任者 松本 優

8. 実施種目

男女個人対抗フルーレ 男女個人対抗エペ 男女個人対抗サーブル 男女学校対抗

9. 試合規則

①公益財団法人全国高等学校体育連盟フェンシング専門部試合規則を準用する。

※一部三重県高等学校体育連盟フェンシング専門部ローカルルールを適用する。

②事前に用具検査は行わないが、ポイントの圧力（フルーレ 500g, エペ 750g）の検査はピスト上で審判員が行う。
その他の試合用具の点検は各校で行い、当日ピスト上にて審判員が不適合と判断した場合は罰則の対象となる。

10. 競技方法

【個人対抗】

① 男女ともプール戦（予選）を行い、エリミナシオンディレクト（15本）・決勝戦及び3位決定戦は実施しない。

②1回戦（予選プール）の組み合わせは専門部で行い、当日発表する。

【学校対抗】

①チーム編成は、監督1名・正選手3名・補欠1名の計5名とし、試合は5本勝負の5勝先取で行う。

②選手登録は4名までとし、ベンチには5名まで入ることを可能とする。

③男女とも試合時間は3分間（実働）とする。

11. 引率・監督について

(1)引率責任者、校長の認める当該校の職員か県職員とする。

(2)監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は損害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

12. 参加資格

① 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育後期課程を含む）に在籍する生徒であること。

② 年齢は、平成18年4月2日以降に生まれた者とする。ただし出場は3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。チーム編成において全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。

③ 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。

④転校後6ヶ月未満の者の参加は認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。ただし、一家転住などやむを得ない場合は、三重県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。

13. 表彰

学校対抗戦 1位に賞状と優勝盾（持ち回り）、2・3位校に賞状を授与する

個人対抗戦 1～3位に賞状を授与する

14. 参加申込

参加申込書は三重県高体連よりダウンロードし校長印を押印のうえ当日ご持参ください。データに関しては後日QRコードをメールで送るのでそのフォームから必要事項を入力してください。（登録番号の欄は空欄で提出してください）

※校長印が押印されたものは当日ご持参下さい。

大会参加料は当日会場にてお支払いください。

① 申込先

専門部事務局メールアドレス fencing.mie@gmail.com

② 参加料

学校対抗1チーム 3,000円 個人対抗1人 1000円（当日持参）

③ 申込締切

令和6年4月24日(水)

④ 申し合わせ事項

(1) 大会参加に関する事項

ア) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は各校で行うこと。

イ) 選手変更についてはエントリーした選手が怪我または病気により出場できなくなった場合大会開会式48時間前までに学校長の承認を得て専門部宛に専門部規定の様式により書面にて提出し承認を得ること。

ウ) 外部指導者の監督については複数校の監督を兼ねることはできない。

(2) 競技に関する事項

ア) 上下衣、ストッキングは必ず白色とすること。特に試合中に膝が出てこない長いもので、かつ厚いものを着用すること。

イ) 上衣の中には必ず半袖プロテクター(FIE)を着用し(FIE 公認ユニホームでも着用のこと)、女子の選手は金属または硬い素材でできている胸当てを両胸に着用すること。(フルーレの選手はその上にソフトカバー着用)また、その他の急所にも十分な防備をすること。

ウ) 選手は頭髪に注意し、試合に支障のないようにすること。特に、頭髪がメタルジャケットの表面にかからないようにすること。

エ) ゼッケンを図のように作成し、各自後ろ足膝の上、外側に必ずつけること。姓を男子は黒字、女子は赤字でピスト係が判別できるよう(太さ1cm以上)に記入し、同一校に同性の者がいる場合は識別できるまで名をつける。

オ) ベンチの入場者は、当該種目監督及び登録選手とする。

カ) 外履き・内履きの靴は、競技会場・練習会場とも必ず区別すること。サンダルなどは許可しない。

キ) 練習中はマスクなしでのファイティング・レッスンを禁止する。レッスンをを行う際は袖付きのプロテクターを着用すること。袖なしプロテクターでレッスンをを行う場合は必ず長袖のユニフォームを着用すること。

ク) 剣で床を突かないこと。また、剣の曲りを直す場合は備え付けのベニヤ板の上で行うこと。

ケ) エペのガードの内側のソケットにはブロックの中で2つの分離された穴がなければならない。従って、2本のワイヤーがブロックの中を別々に通り、端末に繋がるようにすること。

コ) ボディーワイヤーには両端に接続プラグがついているが、この接続プラグは透明の素材で作られてなければならない。武器に装備された安全確保装置の欠如の場合は、安全確保装置がボディーワイヤーのプラグに装備されていること。

ゼッケン

姓
学校名